

本堂建て替え、客殿新築事業始まる

土公供（地鎮祭）祭文

慎み敬って本尊聖者大聖不動明王並びに眷属諸衆、殊には聖者堅牢地神並びに当所鎮守、別しては地水火風の諸鬼神等に白して言さく、

夫れ以れば、当山は延文二年の創建にかかり、爾来真言密教の寺院として法灯を護持し、その盛りを誇りしが、時移り世降るに随い、近時本堂建替の時期至り、安置尊体並びに法要利用の便を考慮して、信徒に諮り改築を発願するものなり。

仍って本日の吉辰を捉んで地鎮の儀を修す。真に無比の善業にして、当来の福祉を倍增せん。

然れば則ち堀地灑浄して供具を鎮め、唱名加持して地神を驚かし奉る。仰ぎ願わくは、諸神証明、諸天擁護、一切善神、有利益者、随意而住、守護伽藍、無辺善願、決定円満

乃至法界平等利益

惟時令和元年九月十七日

敬白

地鎮祭と起工式の風景です。令和元年九月十七日

